

# ぽれぽれレター

第45号  
2021.01.04

## 2021年ご挨拶

### 理念

「人よりそう ひらかれた病院」

### 病院基本方針

※安心・安全ながん医療を提供します  
※医療提携を進め、地域医療に貢献します  
※豊かな人間性を持った医療人の育成に努めます

### 診療案内

内科, 外科, 脳神経外科, 整形外科  
耳鼻咽喉科, 婦人科, 泌尿器科  
放射線科, 消化器科, 緩和ケア科  
乳腺外科, 腫瘍外科, 腫瘍内科  
歯科, 口腔外科

#### 【診療受付時間】

平日 午前8:30 ~ 午後4:00

土曜 午前8:30 ~ 正午

#### 【診療時間】

平日 午前9:00 ~ 午後4:00

土曜 午前9:00 ~ 正午

#### 【外来の休診日】

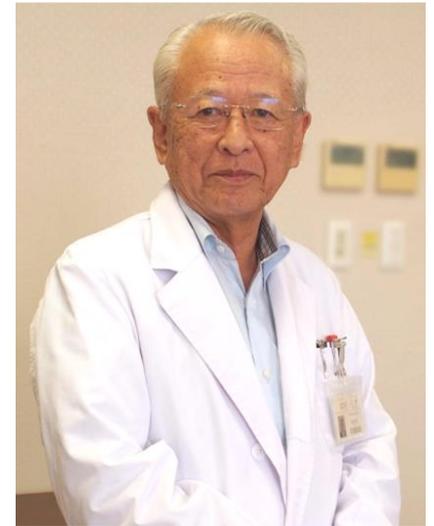
日曜・祝日・年末年始

令和3年1月、謹んで新年の御祝詞を申し上げます。

さて、新型コロナ感染第3波により医療崩壊が危惧されています。医療従事者としては、まず自らの感染を防ぎ、同時に免疫力の低下したがん患者さんへの感染を防がねばなりません。新型コロナウイルスは感染力が強く（風邪コロナウイルスの6倍）、ACE2(アンギオテンシン変換酵素2)という受容体を介して細胞内に侵入します。ACE2が多く存在するのは、肺、心臓、血管、腎、腸などで、これらが標的になりますが、鼻粘膜、舌にもあるので、嗅覚、味覚が障害されます。ACE2は、高齢者、高血圧、心臓疾患、糖尿病、腎臓病などで増加しますので、これらの状態では感染しやすく、重症化しやすいのです。一方、子供はACE2が少ないため、感染リスクが低くなります。なお、ACE2はACE阻害剤、ARBという降圧剤とも関連しますが、これら降圧剤で感染しやすいということではなく、むしろ重症化（サイトカインストーム）を防いでくれる可能性があるようです。

また、最近明らかになってきたコロナ後遺症の中で、怖いのは慢性疲労性症候群です。頻度は高くないようですが、想像を絶する辛さだそうです。何十年か前ですが、阪大放射線科の仲間が慢性疲労性症候群になり、同僚や家族も罹患しました。その放射線科医は強い倦怠感のため常勤の仕事は出来なくなって何年も苦しみ、子供さんもある時期、学校に行けなくなりました。何らかのウイルス感染のようで、原因は今も不明です。新型コロナの後遺症であるような状態になるかと思うとゾッとします。

新型コロナは怖い病気です。非同居者との外食を控え、免疫を高める努力をしましょう。



(病院長 中村仁信)

新年明けましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルスの感染に明け暮れた1年でした。

12月にはそれに対抗するワクチンの供給が始まり、日本でも2月頃にはワクチンの接種がはじまりそうですが、これで一件落着となるのでしょうか。

私共はそれにはめげず、悪性腫瘍の治療の更なる向上と緩和ケアの進展に向かって進んでいく所存です。

本年も宜しくお願いいたします。



(顧問 宮田淑明)



令和3年（2021年）、  
明けましておめでとうございます。



（副院長 後明郁男）

昨年は、新年の気分も  
改まらないうちに、新型  
コロナ肺炎が猛威を振る  
いはじめ、通年、コロナ  
で明け暮れた1年でした。  
新年を迎えるにあたり  
まず、コロナの収束を祈  
念いたします。とともに  
日常を覆っている閉塞感  
を乗り越え、引き続き、  
北大阪における「がん医  
療の地域完結性」に貢献  
していきたいと考えてい  
ます。



明けましておめでとうございます。  
旧年中、当院に賜りました数々のご厚情とご支援  
に対しまして、職員一同心より御礼申し上げます。



（副院長 杉浦孝司）

当院はがん専門病院  
としてがんの再発や転  
移で苦しむ患者さまに  
放射線治療と化学療法  
そして緩和ケアの提供  
を中心に診療しており  
ます。  
本年度も近隣の諸病  
院と連携し質の高い医  
療を提供できるように  
職員一丸となって努力  
していく所存です。今  
年も皆様にとって実り  
多い一年になることを  
願っております。



新年明けましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルス感染症による未曾有の  
災禍の中にもかかわらず、ひとかたならぬ御厚情とご  
支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当院では、がんの早期発見をめざす検診・人間ドク  
クから根治的ながん治療、そして、緩和ケアまで、  
がんのさまざまな病期に対応し、診療しております。



（医局長 高橋正嗣）

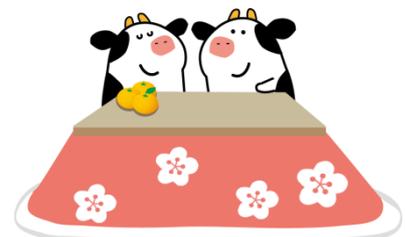
本年も例年と変わら  
ず、患者様ひとりひと  
りによりそい、安心で  
安全な医療をご提供す  
べく、日々、研鑽を積  
んで参る所存です。  
引き続きあたたかい  
ご支援、ご指導のほど  
どうぞよろしくお願い  
申し上げます。  
この状況が一日でも  
早く終息へ向かいます  
ことを祈りつつ…。

新年のお慶びを申し上げます。  
旧年中は当院に賜りました数々のご厚情とご支援に、  
職員一同心より感謝申し上げます。



（看護部長 内田宣江）

昨年は新型コロナウイ  
ルス感染拡大防止のため  
「新しい生活様式」へと  
すべてのひとびとに変化  
が要求される中、ナイチ  
ンゲル生誕200周年を  
迎えました。  
今日の感染管理の礎を  
築いたのはナイチンゲ  
ルです。  
環境を整えること、衛  
生管理の徹底を再認識す  
ると同時に、安全で質の  
高い医療、看護を提供で  
きるよう職員一同精進し  
てまいります。  
どうぞよろしくお願い  
申し上げます。



このニュースレターご希望の方は総合受付・地下受付にお越し下さい

編集後記：日頃から新型コロナウイルスの感染対策を徹底され、風邪やインフルエンザ  
の症状の方が例年より少なく感じられます。引き続き感染対策をしっかりし、2021年  
充実した1年にしましょう。（大塚）

発行者： 中村仁信（病院長） 〒567-0085 茨木市彩都あさぎ7丁目2番18号  
編集長： 福西康修（放射） TEL072（641）6898 Fax072（641）6097  
編集委員： 村井祐子（医師） 岩切昭夫（看護） 松澤圭介（看護）  
常島啓司（情報） 大塚はるか（医事課） 東阪真希（放射）

<http://www.saito-yukokai-hp.jp/index.htm>

「ほれほれ」はホームページからダウンロードできます！

医療法人友誼会 彩都友誼会病院